

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2021・1月号

石川県学校生活協創立72年目（信頼・安心・安全・適正・平等・共働・貢献）

新年あけまして、おめでとうございます！
「望・春の全員利用運動」取り組み始まる！
＝コロナ禍からコロナ過へ＝



石川県学校生活協同組合理事長 細野祐治

春の全員利用運動の今回のテーマは「望」です。

新型コロナウイルスの感染流行は、第3の波に入っています。ここ石川県内でも至る所で感染が続いています。幸いにも石川県学校生活協関係者にはまだ入って来ていませんが、これからも最善の努力を続け、「安心・安全な商品」を確実に届けます。

さて、このような中での春の全員利用運動です。今回のテーマは「望」です。その思いを言うと、一つは、新型コロナウイルスがインフルエンザ並みの対応で共生できる状態に早くなりますように。二つは、コロナ禍で厳しい状況になっている生産者や販売会社が共助でなんとか過ごせますように、三つは、組合員の皆さんが楽しい春を無事迎えられるようにという願いです。

この3つのねらいを一言で表したのが「望」です。私たちの全員利用運動が、多くの人たちの希望になるようにすすめていきたいと思えます。

一品は自分の為に、もう一品は希望をつなげる方にプレゼントにしてください。

取り組み開始は、1月からです。ご購入をよろしくお願ひします。

11月単月の経常剰余は計画を131万円上回りました。前年より166万円改善！

石川県学校生活協の11月累計では、経常剰余219万円の赤字となっておりますが、予算差+261万円、前年差+360万円となりました。事業剰余は予算比で、通信共同購入114%（予算差+82万円）、フレッシュ共同購入113%（予算差+345万円）で、今月も先月に引き続き2桁の超過達成となりました。指定店も先月までは予算を割っていた状況から改善傾向あります。この調子で12月も供給を伸ばすよう職員一同頑張っています！経営黒字まであと一歩のところまで来ています。みなさん、たくさんご利用ください。どうぞよろしくお願ひいたします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

『ディオゲネス』

北本 豊春

『ディオゲネス』の中段で呑気そうに寝そべっているのがディオゲネスです。紀元前四〇〇年から三二〇年程の時代に生きていました。アレクサンドロス大王が活躍していた時代に重なります。キュニコス派・犬儒派と呼ばれる思想家に入っています。犬のようなラフな暮らしぶりから、『犬のディオゲネス』とか『樽のディオゲネス』とか呼ばれました。家や土地や財産には興味を示さず、欲望から解放されて動ずることなく人徳を追究する姿勢を大切にしました。紀元前三三六年にアレクサンドロス大王が將軍としてディオゲネスの住んでいたコリントを訪れました。大王は大勢の家来を引き連れて威風堂々、高名が鳴り響いていたディオゲネスのもとに出かけました。呑気そうに日向ぼっこしているディオゲネスに丁寧な挨拶をして「何か望みはないか」と尋ねました。するとディオゲネスは「あなたがおにいらると日陰になって日向ぼっこが台無しになるからぜひどいてください」と言い放ったのです。アレクサンドロス大王は、ディオゲネスの無欲で恐れを知らない無垢の姿に心を動かされて、納得しながらその場を立ち去りました。帰り道で家臣に「私がもしアレクサンドロスでなかったら、ディオゲネスになりたい」と言ったと伝えられています。権威を怖がらず財産も名誉も地位も望まず自由で開放的に生きていくディオゲネスを見ていると、領地や名誉を求めて戦いに明け暮れている日々を重く悲しく思ったのです。

編集後記

私もついにベット睡眠に「布団の上げ下ろし大変だから、もうベットにしよう」という連れ合いの一言で、昨年11月21日からベット睡眠が始まりました。それまで、私は、畳の上に直に敷布団を敷いて掛布団をかけて寝ていました。連れ合いは、畳の上にマットレスを敷いていました。私も一度マットレスを試してみたのですが、腰が痛くなってやめました。それで、私のベットはマットレスなしにしたのですが、それでもベット自体のクッションが効くので、睡眠後、腰痛が続きませんでした。結局、ベットの上に畳を敷いて、布団をかけて寝ることにしました。だから、今は快適です。特に起きる時が楽になりました。（道祐）